



2002
春季号

ほっと石川



特集

■高校生県政ニュース

あなたのまちの未来づくりの第一歩

“市町村合併”で地域に活力を



山本 光紗さん (2年)



岩本 里美さん (1年)



山本 真里子さん (1年)



後藤かをりさん (1年)

●知事からのメッセージ



市町村合併は、その存立に関わる重大なことから、住民の意思が尊重され、無理のない形で行われることが大切です。県では、合併論議の盛り上げを図るため、市町村などに対する説明会をこれまで160回以上実施し、昨秋には、地域ごとにフォーラムを開き、住民の方々にも多数の参加をいただいております。

合併に関する市町村や住民の方々の関心は、県下全域で高まっています。

手厚い支援を盛り込んだ合併特例法の期限は、平成17年3月末となっています。今後とも関係市町村や住民の方々により、しっかりとした議論がなされるようお願いするとともに、県も積極的に支援をしたいと考えています。魅力的なまちづくりを進める上で大切なことは、住民の方々一人ひとりが関心を持ち、知恵を出していただくことです。皆さんも、自分のまちの将来について一緒に考えてください。

えっ!
私たちの住む地域が合併するってホント?!

最近、よく新聞やテレビのニュースで「市町村合併」という言葉を耳にするようになって、わたしたち四人も言葉だけは知っていました。
ところが、高松、七塚、宇ノ気の河北郡北部三町と、七尾市と田鶴浜、中島、能登島の鹿北三町が、県の「合併重点支援地域」第一号に決まる見込みとの報道があつて、びっくりしました。七尾市と中島町は、まさにわたしたちの住んでいる地域です。それなのに、合併に向けた動きがあるとは全く知らず、とても唐突な印象を受けたからです。
昨日まで他人事のように感じていた市町村合併のことが急に気になり、早速、取材に出かけてみることにしました。

石川の未来をのぞいてみよう!



あなたのまちの未来づくりの第一歩

特集 1

高校生県政ニュース

”市町村合併“で地域に活力を
市町村合併に向けた取り組みが全国的に活発になっています。しかし、なぜ今、市町村合併なのか。そして、合併でわたしたちの住む地域がどう変わっていくのか。まだまだ、よく分からないという方が多いのではないのでしょうか。そこで、今回は七尾高校新聞局の皆さんに、県政ジュニアジャーナリストとして話題の市町村合併について取材してもらいました。

- 特集1 高校生県政ニュース …2
あなたのまちの未来づくりの第一歩
- 知事の窓 ……10
- ほほえみ(石川のボランティア)…10
ヘルスメイト
- インタビュー ……11
作家 唯川恵さん
- 空からみた石川 …… 12
金沢外環状道路山側幹線
- 特集2 中小企業支援・雇用対策…14
がんばる石川の企業・勤労者を応援
- シリーズ 加賀百万石博の魅力…16
- ほっとニュース…19
男女共同参画社会の実現をめざして
- 県政トピックス…20
いしかわ子ども自然学校
土曜ふるさと発見子どもツアー
- 市町村 TOPICS …… 21
鹿西町
- くらしのチエ袋…22
ごみとりサイクル
- 広報誌アンケート結果報告…23
- Information…24

表紙について

■シリーズ ふるさとの野菜

タケノコ



石川県は、タケノコの大規模産地としては北限にあたり、シーズン中には東京や大阪にも出荷されています。味の決め手は何と言っても鮮度。掘りたてのタケノコのやわらかさは格別で刺身としても食べられます。

- 県内の主な産地
金沢市・小松市・鶴来町・津幡町
- 県内産の旬
4月中旬～5月下旬

知りたい! 合併でどうなるの?
1
レポート

合併に向けた本格協議が 県内二地域でスタート

市町村合併を推進する県広域行政推進室を取材

どうして今、市町村合併が注目されるのでしょうか。また、合併のメリットは何なのでしょう。そんな素朴な疑問にこたえてもらうため、県で合併推進の窓口となっている広域行政推進室の三国栄室長にお話を聞きました。



県広域行政推進室の三国栄室長にインタビュー。

市町村の財政的な強化を求めて

これからの市町村においては、自己決定・自己責任による主体的なまちづくりが、期待されています。

しかし、三国さんによれば、「市町村を取り巻く財政環境は今後ますます厳しさを増す」とのこと。なぜかと言うと、市町村の多くは税金などの自主財源だけでは賄い切れず、国からの地方交付税や補助金などに頼ってやりくりしているからで、少子・高齢化が急速に進む今後、このままでは現在のサービス水準を維持していくことは難しくなっていくそうです。

さらに、ごみ処理やリサイクルといった広域的な課題や、医療、介護保険などの専門的で地域に密着したサービスの充実など、財政規模の小さな市町村単独では解決しづらい問題なサービスを提供できるようになるのです。また、地域の活性化に役立つ大規模な事業にも取り組むことができます。

その一方で、「役所が統合されれば、住民票ひとつ取りに行くのも遠くて不便」「中心市街地だけ良くなって周辺部がますますさびれるのではないか」などの不安も残ります。三国さんにそんな疑問をぶつけると、「従来、役所や役場だった建物をサービスステーションにすれば、このような心配はありません。また、合併しようとする市町村は、将来のまちづくりのマスタープランとなります。市町村建設計画を作成することになります。十分話し合い、それぞれの地域に目配りした計画を作ることが大事なんです」と答えてくれました。

合併する市町村を 国や県が力強くサポート

これまで石川県では、合併についての話し合いが活発になるよう、地域のつながりや広域行政の現状を考慮しながら三つの合併パターン（八ページ参照）を示し、市町村議員や職員、地域住民に向けた説明会を開催してきました。また、住民が参加してのシンポジウムやフォーラムも開催されるなど、県下全域で関心が高まってきているそうです。県内で合併に向けた取り組みが最

市民・町民からの声



七尾市
森山 奈美さん
市町村合併は「大きなチャンス」です。新しくつくられる自治体

で、真の地方分権や行政改革を推進し、行政と市民による協働のまちづくりを進める仕組みを考えることができるからです。そのためには、私たち市民もこれから自分のまちをどうしたいか一人ひとりがきちんと考えていく責任があると思います。



根上町
南 雅雄さん
市町村合併に賛成です。企業は激動の変革

の中で生き残りをかけて、経営に当たっています。行政においても構造改革は大事です。財政赤字の解消も急ぐべき施策です。そのためには財政支出を減らす必要があり、地方も合併することにより、相対的に小さな行政にすべきです。合併はできるだけ広域で行う方が好ましく思います。



高松町
細川 律子さん
合併に当たって望む

ことは、合併しても以前の町の良き特徴を残し、生かしてほしいと思います。新しい市政の発展には、生涯学習の拠点となる図書館の充実など、子どもたちが良い文化環境で、視野を広げ、のびのびと育つことが大切です。このようなことを忘れない合併であることを願っています。

題も増えています。こういった問題を解決するための有力な手段が市町村合併なのです。市町村合併は、なにも今に始まったことではありません。これまでも、社会情勢を反映しながら合併を繰り返してきたそうで、今回の動きは少子・高齢社会への備えや地方の時代に耐えられる足腰の強い自治体をつくるためと言ったことができます。

自治体の規模を大きくして 住民サービスを向上

「市町村合併には、自治体の規模を大きくし、行政の効率化を進めることにより、サービスの質を向上させる狙いもあります」と、三国さんは話してくれました。

行政の一層の効率化によって、新しい分野に対応したり、従来は十分に確保できなかった専任の職員を配置できるようになり、より幅広く高も進んでいるのが、高松、七塚、宇ノ気の三町と、七尾、田鶴浜、中島能登島の一市三町の二つの地域で、今年四月に「法定合併協議会」を充足させる予定と聞きました。国や県では、平成十七年三月末までに合併した市町村に対し、新しいまちづくりを手厚くサポートすることになっています。

※1 関係市町村の議会の議決を経て設置され、市町村建設計画の作成や合併に関するあらゆる事項の協議を行います。



昨年10月から5つの広域圏で地域別のフォーラムを開催しました。写真は、昨年10月8日に志賀町文化ホールで開かれたフォーラムの様子。当日は、約600人の参加者が市町村合併に関する理解を深めました。

●市町村数の変遷



合併特例法の期限は 十七年三月末まで!

国と県では、十七年三月末までに合併した市町村に対して手厚い財政支援を用意しています。

1 国による主な支援

●合併特例債
新市町村の将来像を示す市町村建設計画に基づく社会基盤や公共施設の整備のための地方債が認められ、元利償還金の七割が地方交付税で国から補てんされます。

●市町村合併支援プラン

県が「合併重点支援地域」に指定した場合に、合併する市町村の一体化を強めるため、道路等の公共事業をはじめ、生活環境、福祉、教育、産業振興などの公共事業の優先採択や予算の重点配分が受けられます。

2 石川県による主な支援

●市町村合併特例交付金制度
市町村間の社会資本や財政状況の格差を調整するため、合併前に一市町村当たり、二・五億円を助成します。合併前の助成は、他県に例のない石川県独自の制度です。

2

知りたい! 合併でどうなるの?
レポート

住民主体の合併に向け いよいよ本格的な議論へ

七尾市・田鶴浜町・中島町・能登島町合併協議準備会を取材

県内の市町村合併のトップバッターとして四月一日の合併協議会発足に向けて準備を進める「七尾市・田鶴浜町・中島町・能登島町合併協議準備会」を訪れ、田鶴浜町総務課長の永島直樹さんに、今後の取り組みについてうかがいました。

合併協議会では新しい市の将来像について議論を尽くす

Q 七尾市、田鶴浜町、中島町、能登島町では合併協議会の準備会を発足させたそうですが、準備会の役割について教えてください。

A 準備会は、今年二月四日に発足しました。各市町から一人ずつ職員を派遣し、四月一日の合併協議会の設置のために必要な書類の作成、準備などを行っています。

Q 四月にスタートの合併協議会はそのようなメンバーで構成されるのですか？

A 関係する一市三町の首長、議会議員及び有識者、住民代表で構成します。

Q 発足後、合併協議会では何をやるのですか？

A 合併協議会では、新しい市の名称や合併期日、事務所の場所、合併の方式、住民生活に直接かわる行政サービスの水準などについて協議します。また、将来ビジョンの策定など合併後の市のあり方についてあらゆる議論を尽くします。

Q 具体的にはどんな手順で進むのですか？

A まず、さまざまな行政分野の制度や運営システムについて調査分析した後、地域住民の意見を反映させながら、行政サービスの調整をするほか、合併後の将来像を設計画としてまとめます。

Q 例えば中島町には「お熊甲祭り」という伝統的な祭りがありますが、合併で、そういった地域の個性が失われる心配はありませんか？

A 仮に町の名前がなくなったとしても、地域そのものがなくなるわけではありません。それぞれの地域が持つ歴史や文化は新しい市にとっても貴重な財産です。伝統を継承し、新しいまちづくりに生かすことも大事です。



田鶴浜町の永島直樹総務課長に現状について説明を受ける。

合併してどうなった？

兵庫県篠山市の場合

平成十一年四月一日、兵庫県の篠山、西紀、丹南、今田の四町が合併して「篠山市」が誕生しました。合併後、国の特例措置によって財政にゆとりが生まれ、JRの駅前整備、人口増加に対応した火葬場の建設などに着手。昨年七月には、廃校となった中学校を改修して「篠山チルドレンミュージアム」(写真)をオープンし、子どもたちの交流の場になっています。

住民サービスについては、原則としてサービスの質はレベルの高い町に、料金は安い町に合わせました。これによって市の負担は増えましたが、合併によって議員定数が減るなど行政がスリム化したことで補うことができました。



十分な情報提供で地域住民の皆さんと一緒にまちづくり

Q 合併はいつごろになりそうですか？

A 一般に、市町村合併には順調にいって二十二月かかると言われています。まだ合併の期日を定めることはできませんが、合併特例法の期限である平成十七年三月をめどにこれから議論していきます。

Q もっと合併することに決まったというのですか？

A 合併に向けてこれから本格的な協議を始めるところで、合併が決定したわけではありません。合併協議会は、合併の是非も含めて検討する場なんです。



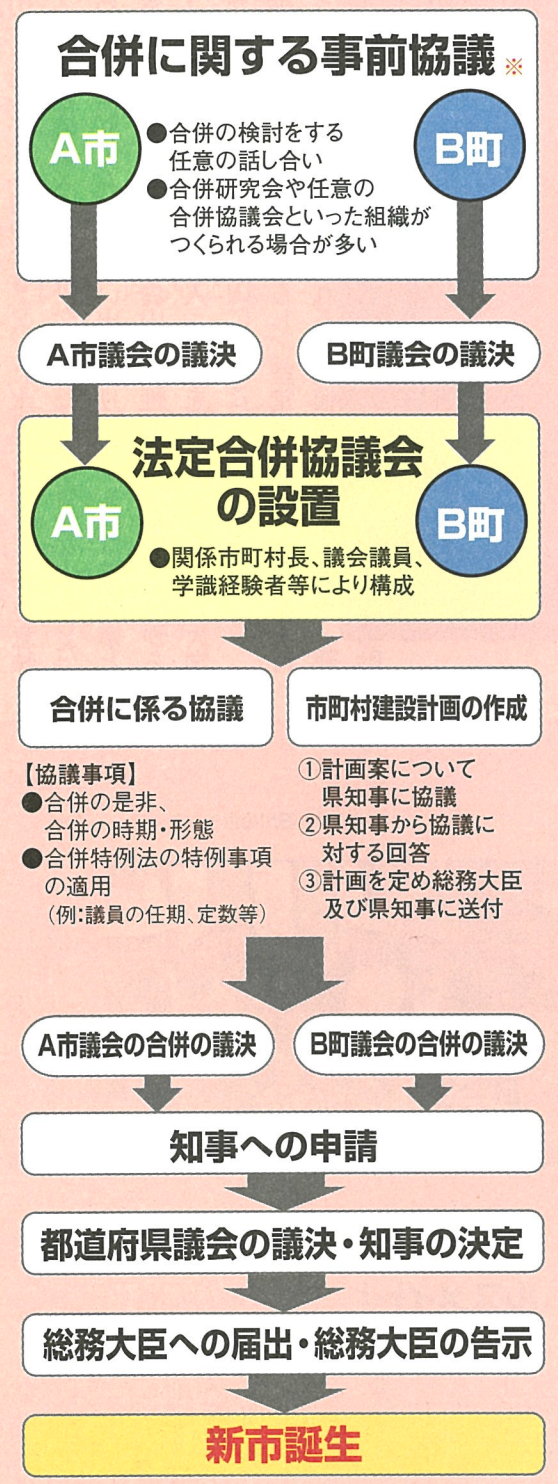
写真右は、七尾市、田鶴浜町、中島町、能登島町の各首長(2/1)。写真上は、高松町、七塚町、宇ノ気町の各首長(2/4)。(写真提供/北國新聞社)

取材を終えて

今回の取材を通して、地域の未来を考えれば、市町村合併は必要性があると感じました。一方で、合併は地域住民が主体となって考える問題なのに、情報が不足しており、今後、合併に向けた話し合いを進める上で、十分な情報提供が欠かせないと思いました。市町村合併は、合併することそのものが目的ではなく、あくまでもわたしたちの住む地域をより良くするための手段です。合併によってさまざまな財政支援があると聞きましたが、そのお金をどう使うのかも真剣に考えなければ、地域を活性化させていくことはできません。自分たちのふるさとでは、これから将来ビジョンを決めていくとのこと、どうなるのか楽しみです。わたしたちも、ホームページを通していろいろと提案をしてみたいと思います。

取材/七尾高校新聞局
山本 光紗
岩本 里美
端 真里子
後藤かをり

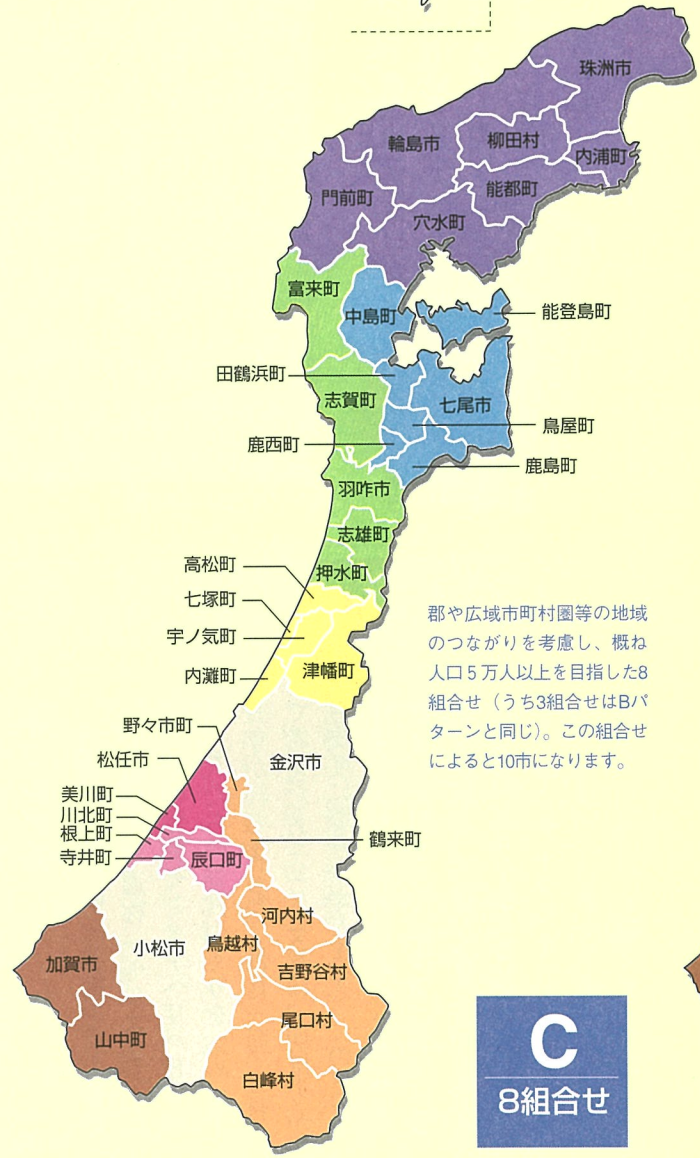
市町村合併の手続き



※住民発議による場合もあり得ます
●法定合併協議会の設置を住民が市町村長に対して請求
●市町村の有権者の五十分の一以上の署名が必要

市町村の合併3パターン

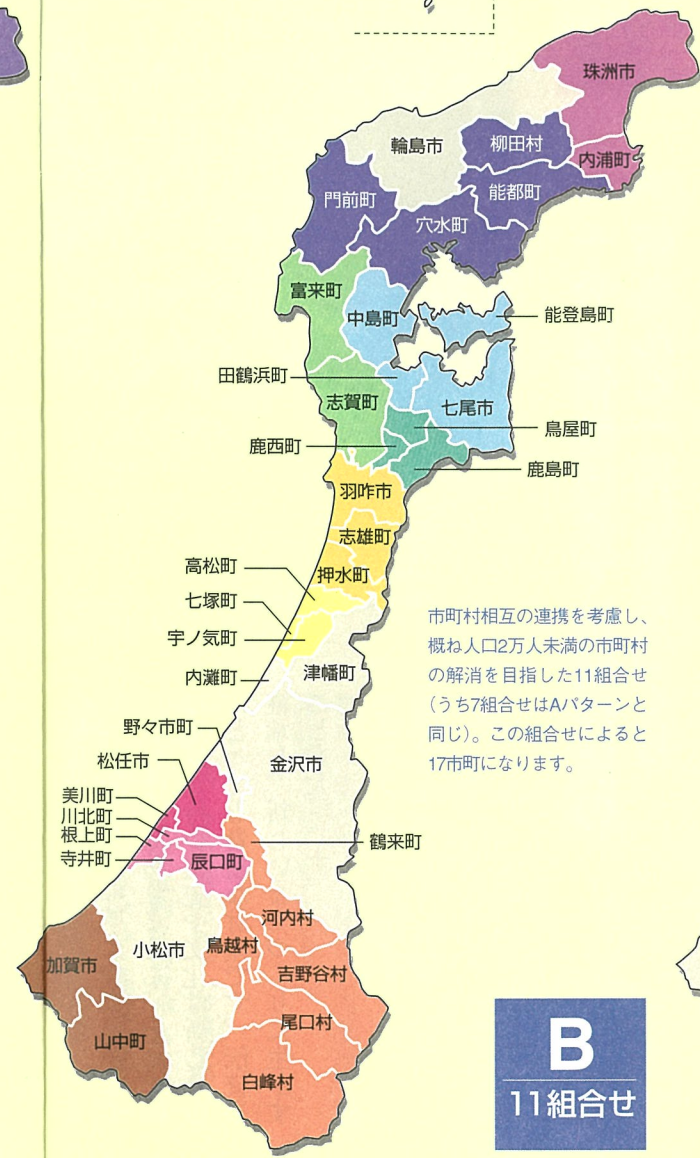
石川県では、市町村合併について考えてもらうためのたたき台として、県民になじみの深い郡など地域のつながりや、一部事務組合などによる市町村相互の結びつきなどを考慮しながら、三つの合併パターンを提示しています。これら以外の組み合わせについても、それぞれの地域において議論を深めていただくことも必要と考えています。



郡や広域市町村圏等の地域のつながりを考慮し、概ね人口5万人以上を目指した8組合せ（うち3組合せはBパターンと同じ）。この組合せによると10市になります。

市町村の組合せ	人口 (人)	面積 (km ²)	県の支援 市町村合併 特別交付金	国の支援 合併特別債
1 鶴来町、野々市町、河内村、吉野谷村、鳥越村、尾口村、白峰村	74,734	699	17.5	373.8
2 津幡町、高松町、七塚町、宇ノ気町、内灘町	95,534	195	12.5	529.2
3 羽咋市、富来町、志雄町、志賀町、押水町	66,828	440	12.5	368.6
4 七尾市、田鶴浜町、鳥屋町、中島町、鹿島町、能登島町、鹿西町	83,112	407	17.5	428.1
5 輪島市、珠洲市、穴水町、門前町、能都町、柳田村、内浦町	89,323	1,130	17.5	545.2

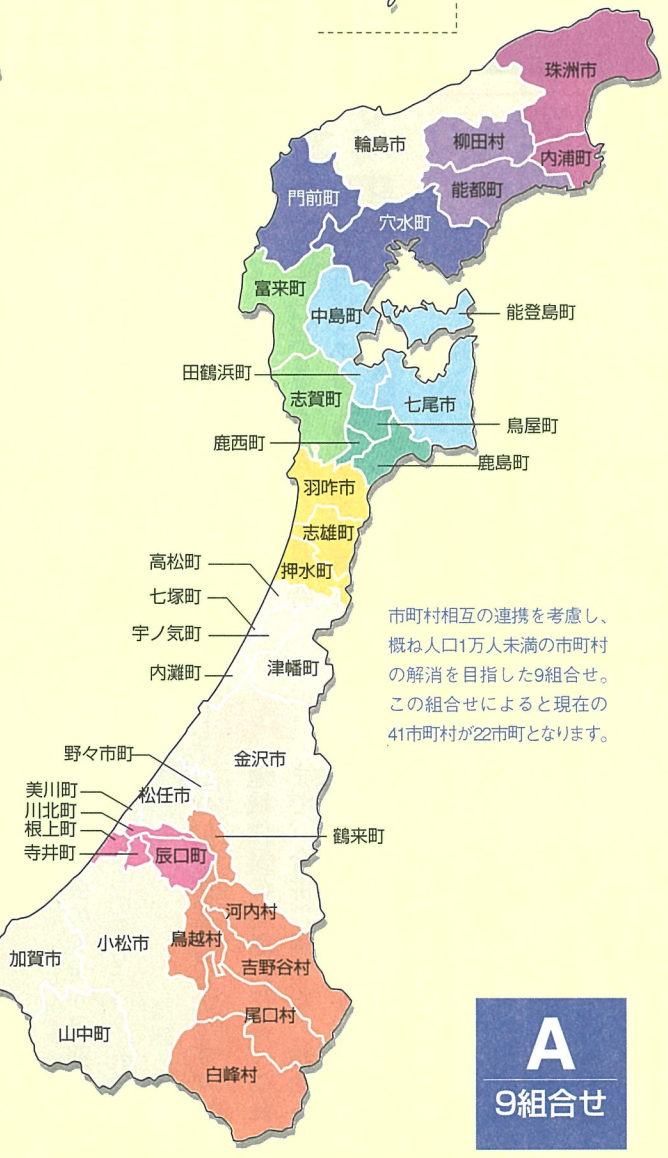
※Cパターンの残りの組合せは、A・Bパターンのうちの3組合せ (A1、B1、B2) と同じになります。



市町村相互の連携を考慮し、概ね人口2万人未満の市町村の解消を目指した11組合せ（うち7組合せはAパターンと同じ）。この組合せによると17市町になります。

市町村の組合せ	人口 (人)	面積 (km ²)	県の支援 市町村合併 特別交付金	国の支援 合併特別債
1 加賀市、山中町	78,563	305	5.0	168.9
2 松任市、美川町	77,824	69	5.0	174.7
3 高松町、七塚町、宇ノ気町	34,670	64	7.5	172.9
4 穴水町、門前町、能都町、柳田村	35,360	560	10.0	203.2

※Bパターンの残りの組合せは、Aパターンのうちの7組合せ (A1～A6、A9) と同じになります。



市町村相互の連携を考慮し、概ね人口1万人未満の市町村の解消を目指した9組合せ。この組合せによると現在の41市町村が22市町となります。

市町村の組合せ	人口 (人)	面積 (km ²)	県の支援 市町村合併 特別交付金	国の支援 合併特別債
1 根上町、寺井町、辰口町、川北町	49,999	98	10.0	271.9
2 鶴来町、河内村、吉野谷村、鳥越村、尾口村、白峰村	29,153	686	15.0	166.0
3 羽咋市、志雄町、押水町	41,432	193	7.5	172.4
4 富来町、志賀町	25,396	246	5.0	92.9
5 鳥屋町、鹿島町、鹿西町	19,149	89	7.5	111.9
6 七尾市、田鶴浜町、中島町、能登島町	63,963	317	10.0	247.7
7 穴水町、門前町	19,417	340	5.0	78.6
8 能都町、柳田村	15,943	219	5.0	63.9
9 珠洲市、内浦町	27,582	301	5.0	91.2

<市町村合併についてご意見をお寄せください。>

●お問い合わせ
石川県総務部地方課
広域行政推進室
TEL. 076 (223) 9140

Interview

インタビュー

作家
唯川 恵さん

■プロフィール

昭和30年金沢市生まれ。金沢女子短大(現・金沢学院短大)卒。銀行などのOLを経て、59年コバルト・ノベル大賞を受賞し、作家デビュー。恋愛小説やエッセイで、多くの女性ファンを持つ。著書に「ため息の時間」(新潮社)、「ベター・ハーフ」(集英社)、「愛がなくてははじまらない」(大和書房)などがある。平成14年「肩ごしの恋人」(マガジンハウス)で直木賞を受賞。



石川県出身の唯川恵さんが今年一月、県出身者としては四十年ぶりに直木賞を受賞しました。唯川文学をはぐくんだ郷土への思いや、今後の創作への抱負などをうかがいました。



金沢はいつも心の中にあるわたしの原点

金沢でのOL経験が創作の糧に

生まれ育った金沢で過ごした三十二年は、私の作品の原点そのものです。特に、十年間のOL生活で得た、二十代から三十代の女性の視点や価値観が、貴重な財産になっています。作品の描写の中にもふるさととの息づかいが自然と表れてくるんですよ。雨のシーンが好きなのは、「弁当忘れても傘忘れるな」と言われるぐらいしつとりとした風土で過ごした影響からでしょうか。東京の乾いた空の下に暮らしていると、時折、金沢に降る雨や雪、そして十二月のすこい雷がふつとよみがえってくることがあります。

帰る場所があるからできた冒険

東京で作家活動に入ったのは、デビューから五年後でした。仕事上の都合に加えて、金沢以外のところで生活してみたいという好奇心もありました。

初めは不安だった東京暮らしも、行ってみれば快適でした。でもそれは、金沢という帰る土地があったからこそできた冒険だったと思います。それに、今でも二カ月に一度はふるさとに足が向いてしまいます。離れていても、金沢はいつも心の中にあるようで、遠いという気がし

家族との絆が作品に影響!

二年前に結婚して、現在は夫と犬との「三人暮らし」です。料理や掃除もし、家族のために使う時間がさらに自分を充実させてくれるようです。独身時代は失うことが嫌で、生き物は植物でさえそばに置かなかつたのですから、人は変わるものですね。

この間の直木賞の選考でも、受賞作を「家族小説」と評価され、恋愛小説を長く書いてきたわたしにとっではとてもうれしく思えました。新しい家族との絆が、無意識のうちにわたし自身を変えていたのかもしれない。

直木賞作家として、今後の作品に注目が集まる中で、自分としては、変えなければならぬと思ったり、変えたくないとも思います。その答えを探はこれからですが、うまくバランスをとって、成長していけたらいいですね。



2月22日、直木賞贈呈式で喜びを語る唯川さん。(写真提供/マガジンハウス)



あれから十年 白山に再挑戦!

そんな大自然が丸ごと残っていて、時間さえ気にしなければ一般の方でも登れるのが白山の大きな魅力です。今年七月には、室堂センターが三年がかりの大改修を終えてリニューアルオープンします。利用者が気持ちよく過ごせるよう心がけることも、ボランティアの解説員も増やしました。訪れた人に白山を深く知っていただければと思っています。

古人から「清浄」の化身としてあがめられた白山。環境の世紀にふさわしい宝物を、石川県民が持っていることを誇りにし、次代へしっかりと受け継いでいきたいですね。そのためにも、ぜひ一度、白山へ足を運んでみてください。わたしも今年、十年ぶりに登ろうと日課の散歩で鍛えています。

白山が国立公園に指定されて、今年で四十年を迎えました。白山は古くは「越の白山」と呼ばれ、「清浄なるもの」「永遠に白きもの」を意味する枕詞として、京の都の歌人たちに詠み継がれるほど有名な山でした。白山には、わたしも忘れられない思い出があります。あれは副知事として石川県に着任した十年前のこと。白山の女性的な丸い頂を遠くから眺めるうち、ユースホステルクラブに入って山をトレッキングした大学時代の「虫」が騒ぎ出し、とうとう夏山に登ることになったのです。昔とった杵柄ははずでしたが息を切らし、室堂まで何回、休憩を入れたことでしょうか。それでも、咲き乱れる高山植物のきれいな姿や、翌朝、明けの空を射抜くようなまばゆいご来光に、身も心も洗われる感動を覚えました。

smile 石川のボランティア ほほえみ



リハビリに通う人たちの食事づくり。

リハビリに通う人のために 手作り昼食

門前町の食生活改善推進員の皆さんで組織する通称「ヘルスマイト」が、町の保健センターへリハビリに通う人たちの昼食づくりを始め、五年が経ちました。毎月一回、会員で考えたメニューを基に、朝早くから支度に取りかかります。この日は、ゆずシメジ、高野豆腐のはさみ煮、カワハギ団子の五目汁など季節の温かな料理と、会員が持ち寄った漬け物などが彩りを添えました。

一緒にテーブルを囲んでの食事は、お互いの健康を気遣ったり世間話などで笑い声が絶えず、リハビリ

地域住民と共に 健康な町づくりを

●門前町「ヘルスマイト」

に通っている高齢者も楽しみにしています。

女性パワーで 心豊かな地域に

ヘルスマイトは、県の食生活改善推進協議会が主催する栄養基礎コースを修了した町内の女性が交代制で参加しています。現在、八地区、三百四十四人が、行政と連携したさまざまな地域活動の原動力となっています。

例えば、町が主催する料理コンクールや親子ふれあい料理教室を運営したり、高校生を対象にした料理教室では郷土料理の「ほおば飯」や「そば作り」に挑戦してもらい、なかなかの好評だったそうです。

会長の大江恭子さんは「高齢者率が県内一の町ですが、活動を通して皆さんとともに健康な町づくりをめざしたい」と話し、次世代にも心豊かな食生活を伝えていくために頑張りたいと張り切っています。



地元で伝わる郷土料理づくりにチャレンジする高校生。

●お問い合わせ
門前町食生活改善推進協議会
「ヘルスマイト」

〒927-2121 門前町字貝吹イ-2
TEL/FAX. 0768 (42) 0165
(大江会長自宅)

21世紀を



空からみた石川

金沢外環状道路 山側幹線

県都金沢市の交通渋滞対策と周辺地域へのアクセス向上を目指し、昭和60年に計画がスタートした金沢外環状道路。山側幹線（金沢市今町～松任市乾町、延長26.4km）は、現在までに10.2kmが完成。県と国土交通省、金沢市が連携して、17年度には全線供用開始を見込んでいます。



破線は未整備区間

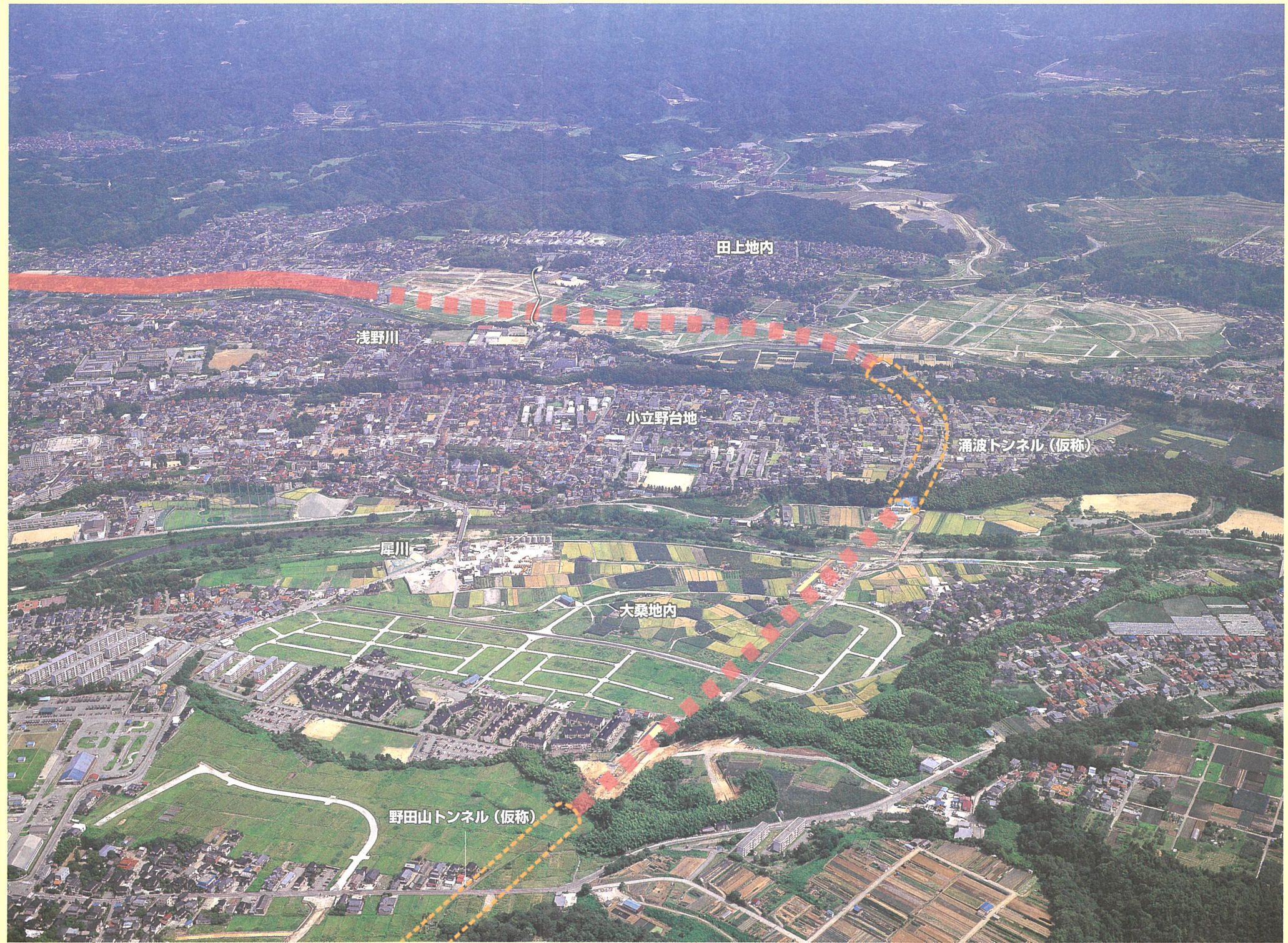
※全国的にも珍しい三つ目の涌波トンネル（完成予想図）。



●お問い合わせ
石川県土木部都市計画課

TEL. 076 (223) 9304

FAX. 076 (223) 9481



平成13年9月撮影

都心部の渋滞解消に大きな期待

外環状道路の完成で 市街地の交通を快適に

金沢外環状道路は、金沢の市街地を取り囲む延長四四・九キロメートルの幹線道路で、卯辰山の下を通る「山側幹線」と金沢港周辺を通る「海側幹線」からなっています。完成すれば、都心部に流入する通過交通を排除し、中心市街地へのアクセスを分散することにより、慢性的な都心部の交通渋滞を緩和することができると期待されています。

山側幹線のうち、県が工事を進める金沢市田上本町から大桑町までの約一・三キロメートルの区間では、小立野台地を貫通する涌波トンネル（仮称）や涌波台地に通じる連絡橋の工事が始まり、涌波トンネルは、めがね形状の本線トンネルと上部の連絡道トンネルからなっており、全国的にも例のない三つ目のトンネルです。施工には台地上の住宅地に影響が出ないように、最新の工法が用いられています。

能登と加賀をつなぎ 県内の道路網を強化

一方、海側幹線は金沢市福増町から戸水町までの区間、六・二キロメートルを整備中です。十四年度の県庁の駅西地区移転前には、海側の側道二車線が供用開始し、引き続き山側の側道二車線の工事を進める予定です。

また、外環状道路は、都心の渋滞緩和だけでなく、能登方面と加賀方面を結ぶバイパスとしての役割も持っています。北陸自動車道や能登有料道路、加賀産業開発道路と接続することで、県内各地へのアクセスを向上します。

がんばる石川の

企業・勤労者を応援

石川県では、長引く不況に苦しむ中小企業の支援や失業率の増加がもたらす雇用不安の解消のため、平成十四年度もさまざまな中小企業支援策や雇用対策に取り組みます。



1 中小企業支援

モノづくり再生をてこ入れ

不況にあえぐ県内中小企業の国内外での競争力を強化・支援するために、県では新たに「モノづくり再生支援プログラム」を策定しました。

顧客からの多様な発注ニーズに対応できる加工技術の向上や、製品の提案ができる設計・企画力の向上、複数の企業が部品製造を分担し、それを組み立ててユニット単位の製品を作り上げる共同受注体制の整備などに取り組みます。

また、中小企業者の経営安定のための代表的な融資である「緊急経営支援融資」を拡充し、融資の要件を緩和します。地元銀行の経営破たんをきっかけに創設した「金融円滑化特別融資」も継続します。

モノづくり再生支援プログラムの内容

- モノづくり高度化技術取得講座の開催
中小企業グループや協同組合が、競争力強化のために行う研修会などに対し支援します。(五グループ程度)
- 高度加工技術可能性調査への支援
発注ニーズに対応して、中小企業が新たな加工技術の開発などにチャレンジする際に、大学や公設試験研究機関等を活用した技術的可能性調査に対し支援します。(一〇〇万円×五件程度)
- 研究開発への支援
新しい加工技術の開発や精度を高めるための技術改良に対し支援します。(三〇〇万円×二〇件程度)
- 基盤技術高度化コンサルティングへの支援
県内中小企業が、県外企業に所属する技術者などから新たな加工技術を習得するためのコンサルティング経費に対し支援します。

共同受注グループ形成のための専任スタッフの拡充

異なる加工技術を持つ企業をグループ化し、共同受注が可能となるよう、生産管理体制などの確立に向けた指導を行うアドバイザーを設けます。

販路開拓のための専任スタッフの拡充

県内企業及び共同受注グループが開発した新製品・新技術を県内外へ売り込むためのアドバイザーを設けます。

モノづくり再生支援融資

- 新規融資枠……二〇億円
- 融資対象……モノづくり再生支援プログラム対象企業
- 融資期間……一〇年以内
- 限度額……五〇〇万円
- 据え置き(二年以上以内)
- モノづくり再生支援融資と併用可
- 新規融資枠……五億円
- 貸付対象……モノづくり再生支援プログラム対象企業、経営革新法等承認企業、地域貢献型企業、(環境配慮、下請維持等)

経営安定・強化のための金融支援

- 限度額……六〇〇万円
- 貸付期間……七年以内
- 据え置き(一年以上以内)

「制度の拡充・要件緩和など」緊急経営支援融資の拡充

- 新規融資枠……二五〇億円
- 前年度一五〇億円
- 売上減少要件……最近三ヶ月一〇%以上
- 前年度一五%以上
- 最近六ヶ月五%以上
- 前年度一〇%以上
- 融資限度額……五〇〇万円
- 前年度三〇〇万円
- 貸付期間……七年
- 据え置き(一年以上以内)

金融円滑化特別融資

- 石川銀行など取引金融機関の破綻に対応するための融資制度
- 新規融資枠……二〇〇億円
- 限度額……五〇〇万円
- 融資期間……七年以内
- 据え置き(一年以上以内)

2 雇用対策

職場実習で中高年齢者の再就職を後押し

中高年齢者の場合、一度離職すると再就職が難しいのが実情です。原因は、求人側・求職側双方にあり、求人側の企業では、中高年齢者の能力や柔軟性に不安を持ち、特に未経験者に対しては採用が及び腰となる傾向が見受けられます。

一方、求職側の中高年齢者にも未経験の仕事への不安感があり、これまでと同業種の仕事にこだわるあまり、就業の機会を逃しているケース

が少なくありません。

そこで県では、四十五歳以上六十五歳未満の中高年齢者の再就職を促すため、企業での職場実習事業を十三年度に引き続き実施します。

これは、県内の商工会議所や商工会の協力を得て、求人ニーズのある企業で中高年齢者の方に最長一カ月の職場実習を受けてもらい、双方の意思が合致すれば、そのまま就職に至る仕組みのものです。

十三年度は、二月末現在で百六人が職場実習を受け、うち六十五人が実習先で就職しました。十四年度は、七尾市、田鶴浜町、志賀町以南の六市二十町を対象に、千人の規模で職場実習を行う予定にしています。

在職者訓練で経営安定、失業防止を図る

このほか、現在、企業に勤める人々への職業能力開発の講座も継続して開講します。企業が求める技能と被雇用者の能力のミスマッチをなくし、変革を迫られる中小企業の経営安定と失業者の増加を未然に防ぐことが目的です。



職場実習先で企業が求める人材像を直に知ることもできます。

講座は、溶接、機械、電気系の計九十八コースで、定員は、参加公募型の七十四コースで七六五人、一定の受講人数が見込まれる企業の訓練ニーズにこたえた二十二コースで三五〇人、高等技術学校の機器などを活用した二コースで一〇人となっています。

さらに、離職者に対する高度人材養成研修も実施します。求人ニーズの大きい分野での職業能力開発訓練を、県内の大学や民間専門学校などでも行うもので、一、一五〇人を予定しています。金沢・小松高等技術学校に巡回就職支援指導員も新たに配置し、訓練受講者に求人情報を提供するなど、再就職を支援します。

仕事さがしのポータルサイト 石川しごとネットを利用しよう

県内の求人情報などを集め、求職者が簡単に情報を検索・閲覧できるホームページ「石川しごとネット」を開設しました。職業別や勤務地別の検索もできます。ぜひ、ご利用ください。

<http://www.shigoto-net.pref.ishikawa.jp>



●お問い合わせ

モノづくり再生支援プログラムに関しては、**石川県商工労働部産業政策課**

TEL. 076 (223) 9188
FAX. 076 (223) 9471

金融支援に関しては、**石川県商工労働部経営支援課**

TEL. 076 (223) 9194
FAX. 076 (223) 9493

雇用対策に関しては、**石川県商工労働部労働企画課**

TEL. 076 (223) 9355
FAX. 076 (223) 9490

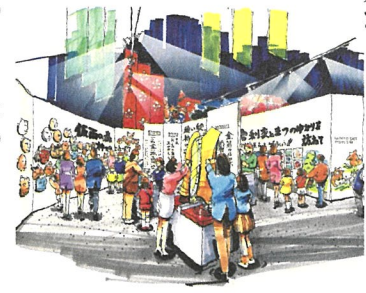


職場実習では、希望する職種で自分の能力や適性を見極めることができます。

◆加賀百万石の歴史、文化、工芸をつめ込んで

石川まるごと館

石川県には、先人から受け継がれた伝統工芸、魅力あふれる観光スポット、楽しさいっぱいの祭りなど、一年中見どころが盛りだくさん。ここには、そんな石川の個性と魅力が、丸ごとつまっています。



金箔のかぶとに目がくぎ付け

百万石 ゆめ兜

「百万石 ゆめ兜」コーナーでは、全国で99%のシェアを誇る金沢金箔を使って利家の黄金のかぶとを再現しており、金箔を買って張ります。出世街道を歩んだ利家のかぶとに願い事をする、夢がかなうかも!? 皆さまからいただいた善意はふるさと教育の推進に役立ちます。

勇壮な石川の祭りが大集合!

まつり曼陀羅

大きな獅子頭が出迎える「まつり曼陀羅」コーナー。長さ12メートルの獅子の体内に入ると、県内各地の勇壮で華やかな祭りが大集合しています。迫力の瞬間をとらえたパネル展示のほか、祭りの様子が大型プラズマディスプレイに映し出され、まるで自分も参加しているような臨場感が味わえます。大人から子どもまで、体中が熱くなること間違いです。



利家なら21世紀の茶室はこうする!?

茶室夢つづら

エントランスを抜けると、一風変わった2部屋の茶室が現れます。畳まで真っ白の茶室で、掛け軸の絵が動く「光の間」と、薄暗く、音と映像が幻想的な空間を醸し出す「響の間」です。ハイテクを駆使したしつらいは、かぶき者の利家が、現代に生きていたら思い描いたであろう茶室を演出したものです。利家のセンスを21世紀にアレンジした不思議な空間に、皆さんも足を踏み入れてみませんか。



スタンプラリーで賞品をゲットしよう

「温故知新 利家とまつゆかりの地と古きまちなみを訪ねて」のコーナーには、スタンプラリーのカードが置いてあります。県内17カ所のゆかりの場所などを訪ね、カードにスタンプを押して郵送すると賞品が当たる! 家族旅行やデートコースにゆかりの地を合わせて巡ってみては?

このほか見逃せないコーナーがいっぱい

ほかにも見逃せないコーナーがいっぱい。表情豊かなおおよそ100個のお面が並んだ「仮面の森 神々のことづて」や、石川に伝わる民話に親しめる「親子で民話 昔ばなしの恩返し」コーナーがおすすめです。

今年のレジャーは

加賀百万石博の魅力

シリーズ① 加賀百万石博の魅力

「加賀百万石博」に「おまかせくださいませ」

◆大河ファンならずとも必見

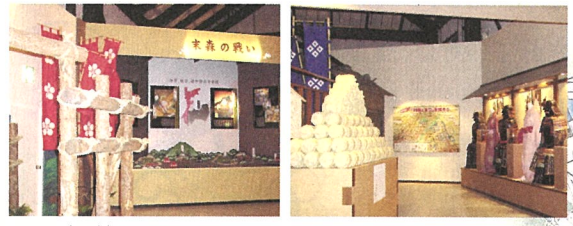
大河ドラマ館

今、話題の役者陣がそろった大河ドラマ「利家とまつ」の情報やドラマの舞台を再現。大河ドラマがさらに十倍おもしろくなる必見のテーマ館です。



利家の出世ぶりが一目で分かる

「戦国出世物語ゾーン」にある「利家の石高成長コーナー」では、利家のサクセスストーリーを初任給と言われる50貫(※)から百万石の順にオリジナル年表で紹介しています。利家に加賀、能登、越中の3カ国を領有するきっかけとなった「末森の戦い」のジオラマは、電飾やナレーションを効果的に使い迫力満点。



※貫…尺貫法による重さの単位で、1貫は3.75キログラム。

ドラマの出演者気分を満喫

「戦国社宅物語ゾーン」では、利家とまつが若いころに暮らした長屋のセットを再現。「加賀百万石物語ゾーン」の上段の間では、殿様と奥方の衣装を身に付けて、気分はまさに利家とまつ。自分の姿をモニター画面で確認して役者気分を味わってください。



利家とまつ肉声が聞けるぞ!

入口のモニュメントからは、なんと400年もの時空を超えて、利家とまつ肉声が聞こえてきます。これは、肖像画をもとに最新技術を駆使して作り出した声で、歴史のロマンがかきたてられます。



あなたはどの戦国武将タイプ?

パソコン画面の質問に答えていくと、男性の場合は、利家、織田信長、豊臣秀吉、佐々成政、女性の場合は、まつ、お市(信長の妹)、おね(秀吉の妻)、はる(成政の妻)のうち、だれの性格に似ているか判定してくれます。

百万石シアター館

出演者が百万石博をナビゲート

迫力いっぱいの大スクリーン上で大河ドラマの撮影風景やドラマの名場面を上映。出演者の紹介パネルやドラマで使用した小道具や衣装もあって、上映を待っている間も退屈させません。

屋外ステージ「おんぼらっと座」

屋外ステージをのんびり、ゆっくりと

「おんぼらっと」は、「のんびり、ゆっくり」という意味。県内の各市町村による伝統芸能をはじめ、民謡や日本舞踊、和太鼓などを習う小学生から60代の人で結成した「百万石かぶき芸能団」が繰り広げる舞台など、毎日変わるステージを「おんぼら〜っと」お楽しみください。

物販・飲食ゾーン「楽市楽座」

13のブースで石川の特産物を販売

江戸時代の街道のにぎわいをイメージした「楽市楽座」では、軽食や県内各地の特産物を販売しています。

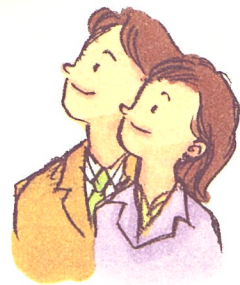
ふれあい館ギャラリー

期間中、金沢城鶴の丸広場にて、ふるさと石川をテーマに「ふれあい館ギャラリー」を開催しています。県民参加によるギャラリーに、ぜひ、お越しください!



“男女共同参画社会”の実現をめざして

石川県では、男女が性別にかかわらず個性と能力を
発揮できる男女共同参画社会の実現をめざして、
この4月からさらに取り組みを強化します。



苦情処理委員が問題を調査・処理 “男女共同参画苦情処理機関”を設置

男女共同参画苦情処理機関は、石川県が昨年10月に制定した「男女共同参画推進条例」に基づき設置するものです。

県から独立した機関として、知事が委嘱した弁護士など3人の苦情処理委員が、男女共同参画に関する県民の皆さんからの苦情などの申し出について、適切かつ迅速に処理します。

取り扱うのは、男女共同参画の推進に影響を及ぼす県の施策への苦情や、DV・セクハラなど男女共同参画を阻害する人権侵害事案です。

苦情処理委員は、申し出人や関係者から話をうかがうなど調査したうえで、男女共同参画推進の視点から検討し、必要に応じて相手方に助言や是正の要望などを行います。苦情の処理は無料で、県民だれもが利用いただけます。

申し出は、原則書面により、郵送またはファクスで受け付けますが、記載事項など詳しいことは、下記までお問い合わせください。

■ 申し出先（郵送・ファクス）

石川県男女共同参画推進室内
「男女共同参画
苦情処理委員」あて
〒920-8580 金沢市広坂2-1-1
FAX.076(223)9331



■ お問い合わせ 石川県男女共同参画推進室
TEL.076(223)9107

一人で悩まないで、相談を “女性相談支援センター”を開設

DV被害者への支援を強化するため、「女性相談支援センター」を開設します。これは、これまでの「婦人相談所」を改称し、女性保護事業に加え、新たに、DV被害を受けた方の相談やカウンセリング、一時保護、各種情報の提供など、DV防止法に基づく配偶者暴力相談支援センターとしての業務を行うものです。

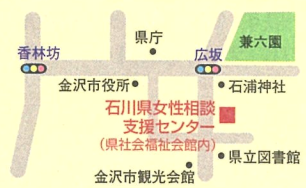
また、電話での相談をご希望の方には、DV専門の「DVホットライン」、その他の相談には「女性ダイヤル相談」を開設しています。

女性相談員が、女性の皆さんからの相談に応じ、悩みや問題の解決に向けた支援を行います。一人で悩まないでご相談ください。



■ お問い合わせ

石川県
女性相談支援センター
〒920-8557 金沢市本多町
3-1-10 県社会福祉会館1階
TEL.076(223)8655



■ 電話での相談

女性のためのDVホットライン
つらい つらい いちどはなしを
TEL.076(221)8740
●平日(月～金) 午前9時～午後9時
●土・日・祝日 午前9時～午後5時
※4月から相談時間を夜間や休日にも拡大しました。

女性ダイヤル相談
TEL.076(233)3741
●月～金 午前9時～午後5時

※1 ドメスティック・バイオレンスの略で、夫やパートナーから女性に向けられる暴力
※2 対人関係や家庭不和、生活困窮など女性がかかえるさまざまな悩みの相談・支援を行う事業
※3 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律

あなたが主演。大河ドラマの世界へ いま金沢城から…

加賀百万石博

会期 平成14年3月23日(土)～平成15年1月5日(日)
会場 金沢城公園 二の丸広場
会場時間 ◎9:00～17:00 (3/23～10/15)
◎9:00～16:30 (10/16～1/5)

入場料 大人(18～65歳未満) 1,000円
小人(6～18歳未満) 600円
高齢者(65歳以上) 800円

※入場券で菱櫓、五十間長屋、橋爪門続櫓にも入場できます。
※入場券の提示により、兼六園や県内の文化施設などに団体料金で入場できます。

見どころ
楽しさ
満載!
倍増!



加賀百万石博マスコットキャラクター
「利家とまつ」



交通情報 マイカーでご来場の皆さまへ

会期中の土・日・祝日は会場周辺駐車場の混雑が予想されます。
下記の来場者専用無料駐車場をご利用ください!

- 駅西臨時駐車場(広岡交差点角)
- 石川県建設総合センター駐車場(泉2丁目バス停前)

※駐車場利用者にはオリジナルグッズを進呈します。
※会場までは路線バスをご利用ください。

● お問い合わせ

大河ドラマ石川県推進協議会事務局
(石川県観光推進総室内)
TEL. 076(223)9461
http://www.hot-ishikawa.jp/

INFORMATION 利家とまつにちなんだ展示もお見逃しなく

「戦い・くらし・女たち 利家とまつの生きた時代」展

会期 4月20日(土)～6月2日(日)

会場 県立歴史博物館

利家時代の生活をしのぶ資料
400点を展示

安土桃山から江戸初期の時代を、「戦い」「くらし」「戦国時代の女たち」のテーマで分け、屏風や甲冑、着物など、400点余りを展示します。歴史ファン、大河ドラマファン必見です。

● お問い合わせ

県立歴史博物館
金沢市出羽町3-1
TEL. 076(262)3236



大坂冬の陣で激突する前田軍と真田幸村軍を描いた「大坂陣図屏風」(県立歴史博物館所蔵)。

「利家とまつ 加賀百万石物語 ～前田家と加賀文化～」展

会期 9月14日(土)～10月27日(日)

会場 県立美術館

前田家ゆかりの美術品を展示

卓抜な時代感覚と器量で、秀吉に次ぐ立場を築いた利家の人となりや時代背景とともに紹介します。さらには、利家から3代利常が育んだ美術工芸の名品を通して、百万石の城下に花開いた優雅で洗練された加賀文化の世界も合わせてご覧いただけます。どうぞ、ご期待ください。

● お問い合わせ

県立美術館
金沢市出羽町2-1
TEL. 076(231)7580



隣接するアッピー広場とともに、運動にもってこいの場所。

スポーツセンター ろくせい

鹿西町の中心部にある総合文化ゾーン「アッピー鹿西」には、さまざまな文化施設が集中しており、各種イベントなどで交流の場として親しまれています。今回はその中から二つの施設をご紹介します。

市町村
TOPICS

鹿西町

ROKUSEI

多目的アリーナで いつでもスポーツを

「スポーツセンターろくせい」は、スポーツの盛んな同町を象徴し、屋外競技が屋内でもできる運動施設として、昨年八月に完成しました。内部の人工芝アリーナは、テニスコートなら二面、ゲートボール場なら四面取れる広さがあります。テニスを楽しんだり、小中学生が野球やサッカーの練習に使うなど、さまざまな目的に利用されています。

ほかにも、トレーニング機器をそろえたラウンジや弓道場、プールといった設備が充実。雨天や冬の雪にじやまされることなく、オールシーズン気軽に運動できる施設として好評です。

利用案内
■利用時間／
午前9時～午後10時
(日・祝日は午前9時～午後5時)
■休館日／年末年始

●お問い合わせ
スポーツセンターろくせい
〒929-1604
鹿西町能登部134部17
TEL. 0767 (72) 4565

●料金	
■アリーナ団体使用料	
昼間 (午前9時～12時、午後1時～4時)	4,000円
夜間 (午後5時～10時)	6,000円
全日 (午前9時～午後10時)	14,000円
■その他施設団体使用料 (トレーニングマシン、和室、会議室)	
昼間 (午前9時～12時、午後1時～4時)	1,000円
夜間 (午後5時～10時)	2,000円
全日 (午前9時～午後10時)	4,000円



スポーツを楽しむ町の人々で、毎日にぎわっています。

町民以外の方でも、低料金でご利用いただけますので、お気軽にお問い合わせください。



能登の東屋造りをイメージさせる木造2階建ての建物。

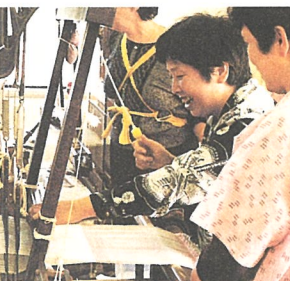


利用案内
■開館時間／午前9時30分～午後3時
■休館日／月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始
■料金 ◎入館料/無料
◎機織り体験(要予約)/3,000円

●お問い合わせ
能登上布会館
〒929-1604 鹿西町能登部134部1
TEL. 0767 (72) 2233

▶鹿西町ホームページ <http://www.town.rokusei.ishikawa.jp/>

能登上布会館



能登上布が織り上がるまでを、すぐ近くで見ることができます。

千二百年の歴史を持つ能登上布は、県の無形文化財にも指定されている麻織物です。「能登上布会館」は、伝統の織物を後世に伝えるため、平成八年に完成しました。館内の作業場では、地元の人々が交代で昔ながらの手織り機に向かい、精巧なかすり模様を今に伝えていきます。糸練りから機織りまでの全工程を見学できるだけでなく、予約すれば機織り体験もできます。

て、人気があります。能登の風土が生んだ独特の色合いや肌触りをぜひ確かめてみてください。

《子ども自然学校プログラム一覧》

- オール オールシーズンチャレンジ(対象:小4~6年生)
- サマー サマーチャレンジ(対象:小4~6年生・中学生)
- ファミリー ファミリーチャレンジ(対象:親子)

■白山青年の家…… ☎07619(2)0223

- オール 白山登山、星座観測、サバイバルキャンプ、雪上アニマルトレッキングなど
- サマー キャンプ、白山登山、カヌー体験など
- ファミリー 草木染め、雪遊び、餅つき大会など

■白山ろく少年自然の家…… ☎07619(6)7114

- オール 渓流体験、山歩き、熊講師の話など
- サマー バーベキュー、鍾乳洞探検、化石採集、温泉滝めぐりなど
- ファミリー そば打ちなど

■鹿島少年自然の家…… ☎0767(77)2200

- オール 森の家作り、かんじき運動会、石動山トレッキングなど
- サマー 荒山&石動山トレッキング、地引網など
- ファミリー サツマイモ掘り、アニマルトレッキング、自然散策など

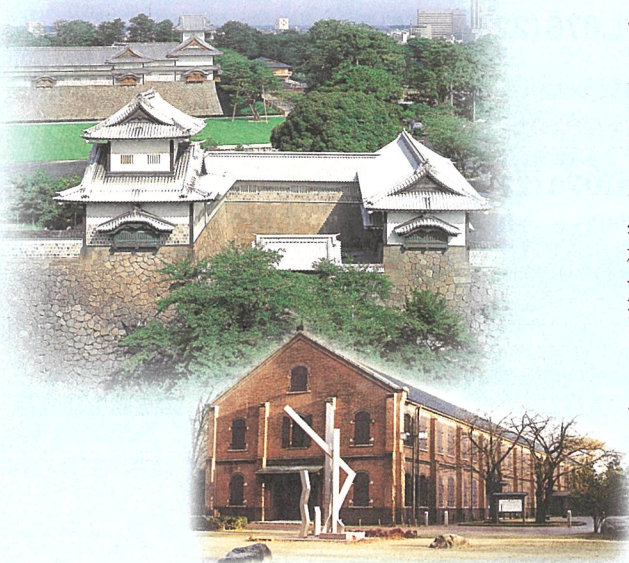
■能登少年自然の家…… ☎0768(72)2200

- オール スノーケリング、漬け物作り、タコ捕りなど
- サマー 大型カヌー体験、地引網、星座観察
- ファミリー リンゴ狩り、アブラメ釣り、親子スキー教室など

※運営を手伝ってくれるボランティアも募集中です。野外活動の理論と実践を学ぶ事前研修があります。高校生以上なら未経験の方でも気軽にご応募ください。

【申し込み方法等】
詳しくは、各学校を通じて配布する案内パンフレットをご覧ください。

●お問い合わせ
石川県教育委員会事務局生涯学習課
TEL. 076 (223) 9404



山の中の温泉めぐりで自然をまさに体感します。

県政トピックス
TOPICS

体験学習で ふるさとをの良さと再発見

未来をひらく子どもたちには、郷土の自然や歴史、文化を肌で感じ、その素晴らしさを認識してもらいたいものです。今年から本格的にスタートする、「いしかわ子ども自然学校」と「土曜ふるさと発見子どもツアー」の二つのふるさと教育事業を紹介します。

いしかわ子ども自然学校 石川の野山が先生

「いしかわ子ども自然学校」は、白山青年の家やそれぞれの少年自然の家を中心に、国や市町村、民間の施設とも連携した自然体験プログラムです。対象は主に小学生で、個人参加型と学校単位で参加するものがあります。個人参加型には県の施設では三種類あり、「オールシーズンチャレンジ」は、山菜採

りや登山、キャンプなどに年間を通して十日間程度参加するもの。「サマーチャレンジ」は、夏休みを利用した宿泊学習、「ファミリーチャレンジ」は親子で参加していただくものです。「子ども自然学校」は、自然の大切さを知ってもらい、野外で活発に動き回ることで、体力向上や健康の増進も目指します。また、集団生活の中で協力し合うことを学び、思いやりの心を育てることも目的としています。



土曜ふるさと発見 子どもツアー

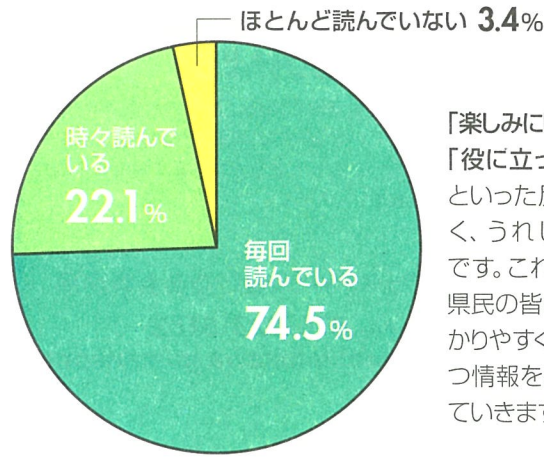
郷土の歴史と文化に感動

「土曜ふるさと発見子どもツアー」は、完全学校週五日制で増えるゆとり時間を活用して、小学生を対象に、石川の歴史と文化を学べる施設をバスで巡るものです。夏休みを除く六月から十月の土曜日に実施。今年の訪問先は、加賀百万石博が行われる金沢城公園をはじめ、兼六園、県立美術館、県立歴史博物館、県立伝統産業工芸館、県埋蔵文化財センターなどで、来年は加賀・能登方面を予定しています。応募方法については、パンフレットやポスターなどで学校へ案内します。

広報誌アンケートの結果を報告します!

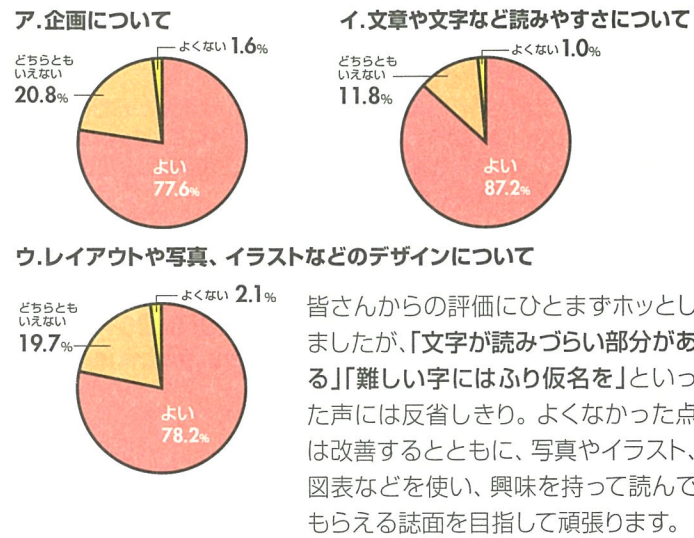
昨年、「ほっと石川」夏季号で募集した広報誌アンケートに対して、1,137人の方々から回答をいただきました。これからも皆さんから寄せられた貴重なご意見を基にしながら、より魅力的な誌面づくりに努力してまいります。ご協力ありがとうございました。

Q1 本誌をお読みになっていますか?

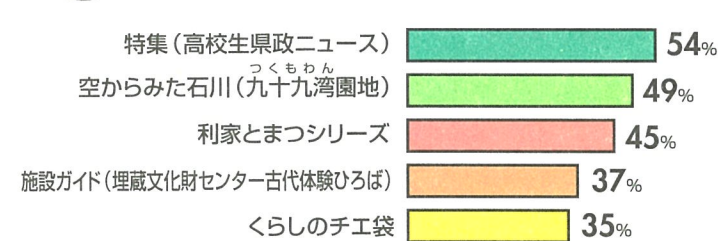


「楽しみにしている」「役に立っている」といった反響も多く、うれしい限りです。これからも、県民の皆さんに分かりやすく、役に立つ情報をお届けしていきます。

Q2 どのような印象を持たれましたか?

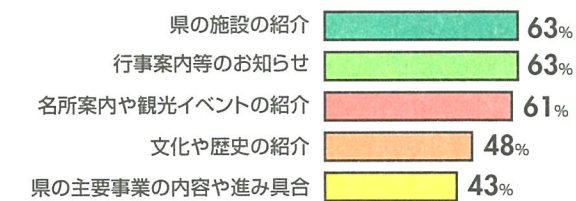


Q3 「よいと思ったもの」と「よくないと思ったもの」は?(複数回答)



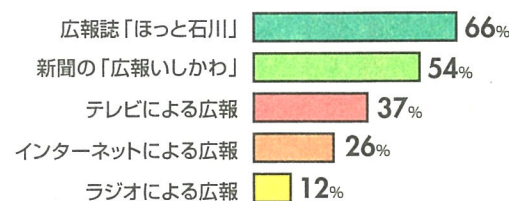
年に2回掲載してきた「高校生県政ニュース」は、「県民参加の企画で県政が身近に感じられる」「子どもに読ませたいテーマだ」など、すっかり人気コーナーに。14年度も引き続き、高校生の皆さんにご協力をいただき、掲載したいと考えています。

Q4 どのような情報を知らせてほしいですか?(複数回答)



それぞれの情報について、「県民参加型の企画を」や、「大人と子どもが一緒に楽しめる工夫を」との声がたくさんありました。これからも県民の方がリポーターとして活躍する企画や、子どもたちにも興味を持ってもらえるよう工夫します。お楽しみに!

Q5 県の広報活動として今後、力を入れるべきものは?(複数回答)



広報誌や新聞など、いつでも見られる印刷物がやっぱり人気。また、テレビやインターネットなどにも、活字とは違った役割があるので、それぞれの特長を生かしながら情報を提供していきます。



STEP 2 買い物の仕方にと工夫

ごみを減らすには無駄をなくすることが一番。「買い物にはマイバッグを持って行く」「野菜や果物は裸売りを選ぶ」「使い捨てではなく、長く使えるものを選ぶ」「シャンプーなどは詰め替え用を買う」など、買い物の仕方次第で、ずいぶん減らすことができます。

STEP 1 生ごみを減らそう

家庭ごみを重さで見た場合、最も多いのは生ごみ。これを減らすポイントは、捨てる前によく絞って、水気を切る事です。これだけで、かなり軽くなります。このほか、最近ではコンポスト容器や家庭用生ごみ処理機でたい肥にリサイクルする方法が注目を集めています。購入に助成金を出している市町村もあります。自家製のたい肥で野菜や花を育てるのも楽しいものです。



くらしのチエ袋 21世紀に伝えたい健民のチエ (シリーズ⑥)

ごみとリサイクル 家庭の中の「使い捨て」や「無駄」を見直しましょう

便利で快適な毎日とは裏腹に、ごみ問題は深刻です。買い物の仕方を工夫したり、昔の生活に学ぶことで普段からごみの減量を心掛けていきましょう。

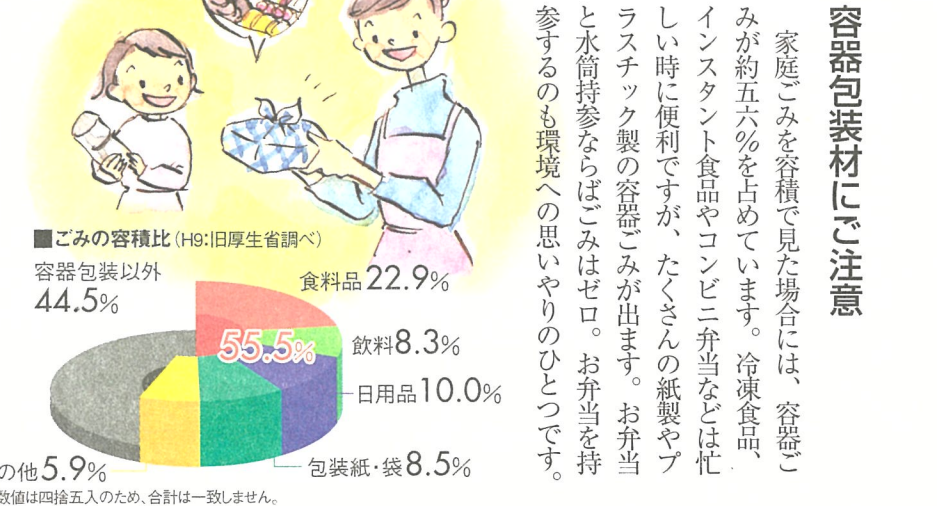
リサイクル製品を利用しよう!

「缶類、ビン類、トレー、牛乳パック、紙」などを資源ごみとして出すことが定着してきました。さらにリサイクルを進めるためには、そのリサイクル製品を使うことが大切です。

- 石川県リサイクル認定製品** 石川県リサイクル認定製品マーク
県内で発生したごみを県内でリサイクルして作られた商品につけられる認定マーク
- エコマーク** 資源をリサイクルした商品や自然環境への負担を軽減した商品につけられるマーク
- グリーンマーク** 再生紙を使った雑誌、トイレトーパー等の商品につけられるマーク
- 牛乳パック再利用マーク** 牛乳パックをリサイクルして作られた商品につけられるマーク

参照 『豊かなくらしのチエ袋』
お問い合わせ 石川県健民運動推進本部
TEL. 076 (223) 9113

STEP 3 容器包装材にご注意



人と海 きらめく波 夢創造



平成14年
7/20
(土) 海の日
~28(日)

[会場]
金沢港、
七尾港

第17回
海の祭典

帆船や大型船もやってくる
体験型イベントがいっぱい

海への理解と関心を高めることを目的とし、金沢港と七尾港を中心として第17回「海の祭典」を開催します。帆船や船長100mを超える大型船の一般公開と体験航海など、子どもたちにも積極的に参加してもらえ多彩な催しを実施します。

●お問い合わせ
第17回「海の祭典」実行委員会事務局 (産業立地課内)
TEL. 076 (223) 9442 FAX. 076 (223) 9480
ホームページ <http://www.pref.ishikawa.jp/uminosaiten/>

第14回全国生涯学習フェスティバル



平成14年 10/10(木)~14(月)

[主会場] 県産業展示館
[開催地] 金沢市、七尾市、小松市、輪島市、松任市、野々市町

自分自身が「まなびすと」
あなたの「まなび」を見つけよう!

“まなびピア石川2002”は、生涯学習活動に取り組む企業や団体、サークルなどが一堂に会し、新しい学習情報の展示や体験教室、ステージ発表などを通じて、生涯学習のおもしろさをさまざまな角度から紹介します。皆さんもぜひ、足をお運びください。

●お問い合わせ
第14回全国生涯学習フェスティバル実行委員会事務局
TEL. 076 (223) 5180 FAX. 076 (223) 5182
ホームページ <http://www.pref.ishikawa.jp/manabee/>

●第86回
日本陸上競技選手権大会

平成14年 6/7(金)~9(日)
[会場] 県西部緑地公園
陸上競技場 金沢市袋島町南136

日本のトップアスリートが勢ぞろい
100mや走り高跳び、ハンマー投げなど、男子19種目、女子18種目で、日本トップクラスの選手たちが、白熱した競技を繰り広げます。お見逃しなく。

●お問い合わせ
石川陸上競技協会
第86回日本陸上競技選手権係
金沢市北安江3-13-13
TEL. 076 (231) 2005

●2002年
カヌーワールドカップ[第5戦]
(世界ジュニアカヌー選手権大会リハーサル大会)

平成14年 7/25(木)~28(日)
[会場] 木場潟カヌー競技場 小松市木場町

オリンピック選手も多数参加
シドニー五輪に出場した選手をはじめ、世界約30カ国から強豪が参戦。1000m、500m、200mの距離に男子、女子計27種目で競います。ジュニア(15~18歳)の部も同時開催します。

●お問い合わせ
第10回世界ジュニアカヌー選手権大会組織委員会
小松市小馬出町91 (小松市教育委員会内)
TEL. 0761 (24) 8126
ホームページ <http://www.city.komatsu.ishikawa.jp/canoe1/canoe2003.htm>

●第6回
世界学生トライアスロン
選手権七尾湾岸大会

平成14年 8/11(日) [会場] 七尾湾岸
トライアスロンの
学生チャンピオンが決定

水泳、自転車、ランニングの3種目を組み合わせたトライアスロンは、最も過酷なスポーツと言われています。学生界の世界チャンピオンを目指す選手たちに熱い応援をお願いします。

●お問い合わせ
2002年FISU世界学生トライアスロン
選手権七尾湾岸大会組織委員会事務局
七尾市石崎町下部56
TEL. 0767 (62) 8882
ホームページ <http://www.02fisuwutc.com>

石川県の人口(推計)
118万954人
(平成14年2月1日現在)

男	57万1947人
女	60万9007人
世帯数	41万6548世帯 (1世帯あたり2.84人)

編集後記
待ち合わせたホテルのロビーに定刻に現れた唯川さん。黒いパンツに茶のダウン。スラリとした長身にそれがよく似合っている。唯川作品に登場する力強い女性にイメージがダブッてしまった。インタビュにもテンポよく答えられる。ともかく「カッコイイ」という言葉につぎる。

《表紙の作者》 谷 俊道さん
今号から、表紙絵を金沢市在住のイラストレーター、谷俊道さんをお願いすることにしました。谷さんは、三次元コンピュータグラフィックスや粘土、紙を使った立体のクラフトなどを手がけています。

●知事のホームページの提言コーナー
いしかわ夢づくりEメール
県のホームページからアクセスしてください。
<http://www.pref.ishikawa.jp/>

住所・郵便番号・氏名・年齢・職業を
ご記入の上、郵便またはファクスで
お送りください。
〒920-8580(住所の記入不要)
石川県広報広聴室(前略)石川県知事(あて)
FAX 076(223)9474

県政に対する
ご意見・ご提言を
お寄せください
前略 石川県知事

